



ホ 2
5921
巻



<49-2762>

玉露序

昔ははるまじく。人のよろこび
乃言の葉も。やうしくは花をみ川
いりまきぬる。久米乃 山
にもいとほ。河川も同じき物
らふへのつらげあまき。なる
河も心
同じく。はるまじく。はるまじく。

了
2640



玉

くふ十一く十一く十一く十一

く十一

く十一

から十一

から十一

か十一

か十一

か十一

か十一

か十一

か十一

か十一

か十一

か十一

か十一

か十一

か十一

か十一

か十一

か十一

か十一

か十一

か十一

か十一

か十一

か十一

か十一

か十一

か十一

か十一

か十一

か十一

か十一

か十一

か十一

か十一

か十一

か十一

か十一

か十一

玉

しつゝ五十一のり ころ五十二のり こま五十三のり

ま五十四のり ま五十五のり ま五十六のり

ま五十七のり ま五十八のり ま五十九のり

ま六十のり ま六十一のり ま六十二のり

ま六十三のり ま六十四のり ま六十五のり

ま六十六のり ま六十七のり ま六十八のり

ま六十九のり ま七十のり ま七十一のり

ま七十二のり ま七十三のり ま七十四のり

ま七十五のり ま七十六のり ま七十七のり

のり
のり

のり五十一のり のり五十二のり のり五十三のり
のり五十四のり のり五十五のり のり五十六のり
のり五十七のり のり五十八のり のり五十九のり
のり六十のり のり六十一のり のり六十二のり
のり六十三のり のり六十四のり のり六十五のり
のり六十六のり のり六十七のり のり六十八のり
のり六十九のり のり七十のり のり七十一のり
のり七十二のり のり七十三のり のり七十四のり
のり七十五のり のり七十六のり のり七十七のり
のり七十八のり のり七十九のり のり八十のり
のり八十一のり のり八十二のり のり八十三のり
のり八十四のり のり八十五のり のり八十六のり
のり八十七のり のり八十八のり のり八十九のり
のり九十のり のり九十一のり のり九十二のり
のり九十三のり のり九十四のり のり九十五のり
のり九十六のり のり九十七のり のり九十八のり
のり九十九のり のり百のり

Handwritten text in a cursive script, likely a form of Arabic or Persian. The text is written in dark ink on aged paper. It consists of several lines of text, with some characters appearing to be ligatures or specific diacritics. The script is dense and flowing.

□

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. The text is written in dark ink on aged paper. It consists of several lines of text, with some characters appearing to be ligatures or specific diacritics. The script is dense and flowing.

Handwritten text in a cursive script, likely a form of Arabic or Persian. The text is written in dark ink on aged paper. It consists of several lines of text, with some characters appearing to be ligatures or specific diacritics. The script is dense and flowing.

□

Handwritten text in a cursive script, likely a form of Arabic or Persian. The text is written in dark ink on aged paper. It consists of several lines of text, with some characters appearing to be ligatures or specific diacritics. The script is dense and flowing.

Handwritten text in a cursive script, likely a form of Arabic or Persian. The text is written in dark ink on aged paper. It consists of several lines of text, with some characters appearing to be ligatures or specific diacritics. The script is dense and flowing.

倍そくのちぞ 百廿三から一までがうらまるといふはねだぬ ちよと又おれおの

中ふはのあつこおきこめて 後の柳のうらまじ 自地コロのうらまじつるはもま

しぬまじがしぬ FE 細とくは細と人のちくこととくは細

とくは細のちぬ FE ちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬ

おのり FE ちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬ

ちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬ

ちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬ

おと FE ちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬ

ちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬ

ちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬ

ちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬ

ちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬ

ちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬ

ちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬ

ちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬ

ちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬ

ちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬ

ちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬ

ちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬとくはちぬ

1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 17. 18. 19. 20. 21. 22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 39. 40. 41. 42. 43. 44. 45. 46. 47. 48. 49. 50. 51. 52. 53. 54. 55. 56. 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 68. 69. 70. 71. 72. 73. 74. 75. 76. 77. 78. 79. 80. 81. 82. 83. 84. 85. 86. 87. 88. 89. 90. 91. 92. 93. 94. 95. 96. 97. 98. 99. 100.

1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 17. 18. 19. 20. 21. 22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 39. 40. 41. 42. 43. 44. 45. 46. 47. 48. 49. 50. 51. 52. 53. 54. 55. 56. 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 68. 69. 70. 71. 72. 73. 74. 75. 76. 77. 78. 79. 80. 81. 82. 83. 84. 85. 86. 87. 88. 89. 90. 91. 92. 93. 94. 95. 96. 97. 98. 99. 100.

1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 17. 18. 19. 20. 21. 22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 39. 40. 41. 42. 43. 44. 45. 46. 47. 48. 49. 50. 51. 52. 53. 54. 55. 56. 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 68. 69. 70. 71. 72. 73. 74. 75. 76. 77. 78. 79. 80. 81. 82. 83. 84. 85. 86. 87. 88. 89. 90. 91. 92. 93. 94. 95. 96. 97. 98. 99. 100.

サホ「おびそめ」の代めどおびそめよ」にうふそお

おびそめ

そのかき^{スキ}さる「おは事さる」船の中お上さる
まき^{トキ}「おは事さる」船の中お上さる
事さる「おは事さる」船の中お上さる
「おは事さる」船の中お上さる
おびそめ「おびそめ」船の中お上さる

天が下

むし「天のトとのこころ」天が下とらふら後の
おびそめ「おびそめ」船の中お上さる
おびそめ「おびそめ」船の中お上さる
おびそめ「おびそめ」船の中お上さる

はりの海

よのらむら「おびそめ」船の中お上さる
おびそめ「おびそめ」船の中お上さる
おびそめ「おびそめ」船の中お上さる
おびそめ「おびそめ」船の中お上さる
おびそめ「おびそめ」船の中お上さる

おびそめ

おびそめ「おびそめ」船の中お上さる

が...
...
此差別ナゲタ...

のい

不右アラフズの...
...
タの...

タと...
...
...

のい

み...
...
...

Handwritten text in a cursive style, likely a continuation of the text on the left page. The characters are dense and difficult to decipher without a key.

五

三十一

文の部

Handwritten text in a cursive style, likely a continuation of the text on the left page. The characters are dense and difficult to decipher without a key.

五

今と人の名紙よめて。あるはふよして。古字のやも
ねど。今と人の名紙よめて。あるはふよして。古字のやも
中右よりこある。まづて人の名紙よめて。あるはふよして。古字のやも
ふねりて。こあるをよめて。あるはふよして。古字のやも
そのままりあり。あるはふよして。古字のやも
うらなちかたなり。

某者者

まづて人の名紙よめて。あるはふよして。古字のやも
こある。式なり。むう。某といひ。者なり。あるはふよして。古字のやも
近きころの人の名紙よめて。あるはふよして。古字のやも

まづて人の名紙よめて。あるはふよして。古字のやも
文の近きころの人の名紙よめて。あるはふよして。古字のやも
ちかど。あるはふよして。古字のやも
附て。有某者。とある。こある。正。まづて人の名紙よめて。あるはふよして。古字のやも
を。近きころの人の名紙よめて。あるはふよして。古字のやも
むき。ナルモノ。の附て。あるはふよして。古字のやも
あり。まづて人の名紙よめて。あるはふよして。古字のやも
まづて人の名紙よめて。あるはふよして。古字のやも
つ。まづて人の名紙よめて。あるはふよして。古字のやも
や。近きころの人の名紙よめて。あるはふよして。古字のやも

玉あり

多鄙のうらとつをてあわらばげうかのま古半紀
ゆふううくつこ。

つづ

田舎のつばあぐとつらみぐらと。つづとる系より
下は田舎の官人のつ任まをててふるあう。古半
来のつちあ。つづとるえあえ出とじやとつと。冬
に様まうてつづとるまをその記まお冬つを
おととあも。つづとるまを。おあうとつとつと
しかりを。つづとるまを。つづとるまを。つづとるまを
つづとるまを。つづとるまを。つづとるまを。つづとるまを

つづとるまを。つづとるまを。つづとるまを。つづとるまを
つづとるまを。つづとるまを。つづとるまを。つづとるまを
つづとるまを。つづとるまを。つづとるまを。つづとるまを
つづとるまを。つづとるまを。つづとるまを。つづとるまを

つづとるまを

今のまお人。江戸ふゆてを。つづとるまを。つづとるまを
つづとるまを。つづとるまを。つづとるまを。つづとるまを
つづとるまを。つづとるまを。つづとるまを。つづとるまを
つづとるまを。つづとるまを。つづとるまを。つづとるまを
つづとるまを。つづとるまを。つづとるまを。つづとるまを
つづとるまを。つづとるまを。つづとるまを。つづとるまを
つづとるまを。つづとるまを。つづとるまを。つづとるまを
つづとるまを。つづとるまを。つづとるまを。つづとるまを

つづとるまを

寬政四年壬子春初刻
天保十三年壬寅秋再刻

大改心齋橋助博芳町

河内屋茂兵衛

書 勢州松板日野町

柏屋兵助

皇都御幸町姉小路止町

菱屋孫兵衛

同寺町通姉路上町

井筒屋忠兵衛

同寺町通四条下町

山城屋佐兵衛

肆

花書

和文...

如來卷修學之書

花著

